

リコーダーが好きな方にお勧めです。

吹奏鍵盤笛 アンデス andes25F

* 独特な音色を体験してみてください *



吹奏鍵盤笛「アンデス」は鍵盤ハーモニカのようなのですが、吹いて音を出してみるとリコーダーの音がするという不思議な楽器です。

そのほのぼのした音色は独特のもので、力の抜けた癒し系の感じです。

またリコーダーの音ですが和音がでるのが特徴で、曲の中に効果的に使えること間違いなしです。

実際に、店頭にて御覧頂けます。ご来店の際にお話下さい。

吹奏鍵盤笛

andes ^{アンデス} 25F 癒し系ほのぼの感



吹奏鍵盤笛

andes ^{アンデス} 25F

税込価格 **¥14,175**
(本体¥13,500)



■ 吹奏鍵盤笛 andes25F 仕様

鍵数・音域：25鍵 f~f'
 材質：ABS樹脂カバー・AS樹脂鍵盤・アルミ製キーアングル
 寸法：360×262×56mm
 重量：1.0kg
 付属品：専用立奏唎口・卓奏唎口・専用ストラップ

吹奏鍵盤笛「アンデス」ってなんです？

ポイント 01 鍵盤楽器なのに笛の音。

「アンデス」は鍵盤ハーモニカのように息を吹き込み、鍵盤を弾いて音を出す楽器です。アンデスには鍵盤一つ一つに笛がついていて、息を吹き込んで鍵盤を押すと「パーポーひほー」と、とほけた笛の音がします。

ポイント 02 和音が出る。

リコーダーなどの笛は和音を出すことができません。でもアンデスは鍵盤を押さえるだけで簡単に和音を奏でることが出来ます。

ポイント 03 ほのぼのとした世界観。

アンデスの癒し系の憎めない音色は、楽曲に独特の世界観を生み出します。どんな重厚な曲もアンデスにかかれば力の抜けたほのぼのとした曲になっちゃいます。



※合成イメージです

アンデスを積極的に使ってきた、アーティスト 栗コーダーカルテット

We are
**KURICORDER
QUARTET !!**



Photo by
Shoji Tateishi



彼らのサウンドには、アンデスが効果的に登場してきます。そんな栗コーダーカルテットの栗原氏からコメントをいただきました。

この音色、力抜けますよね。憎めないサウンドの横綱です。ちょっと和音も出せますし、僕らの音楽作りにおおいに役だってます。 ——— 栗コーダーカルテット / 栗原正己

栗コーダーカルテット Kuricorder Quartet Profile ~プロフィール~

音楽の世界のいろいろな場所で活躍してきた4人が1994年にリコーダーを手に何となく結成。以後5枚のオリジナルアルバムを発表。ほのぼのした音で好評を得ず。サウンドプロデュース、CM、サントラなど多方面で活躍中。1998年よりアンデスをアンサンブルに導入。大ヒットした「帝国のマーチ」によりその音色が広く世間に知られることとなる。